

前田志織さん(前列左)、ソフトテニスの根川響くん(中央)と與那嶺晃大くん(右)は、7月25日に開催された第33回沖縄県中学校バドミントン競技



バドミントンで優勝した前田志織さん(前列左)、ソフトテニスの根川響くん(中央)と與那嶺晃大くん(右)

男子では、根川響くん(西原東中3年)與那嶺晃大くん(同中2年)組が個人の部で準優勝しました。この結果、第44回九州中学校ソフトテニス競技大会(鹿児島県)に、女子の団体・個人と男子の個人の部で出場を果たしました。



西原中ソフトテニス部のみなさん

また女子個人の部で、石橋咲希さん(同中2年)・平良咲奈さん(同中2年)・新垣怜奈さん(同中3年)組が3位に入りました。

7月24日に開催された第55回沖縄県中学校ソフトテニス競技大会の女子団体の部で、西原中女子ソフトテニス部が見事、優勝しました。接戦が続いた決勝リーグでしたが、西原中は3戦全勝での優勝でした。

個人競技でも活躍が光る

5月に開催された第31回タイムス杯争奪総合体操競技大会の小学生男子団体で、安村勇哉くん(坂田小6年)がベビーノ体操クラブのメンバーとして出場。総合1位に輝き、8月6日から開催された第28回九州小学生体操大会(鹿児島県)に出場しました。



川満麗さん(中央) 金城幸希くん(左から2番目)

Wウイング沖縄JFCに所属する金城幸希くん(坂田小5年)と川満麗さん(西原東中2年)は、その活躍が評価され、沖縄県サッカー協会からの選抜推薦を受けました。金城くんは県選抜チームで唯一の5年生です。金城くんは7月26日から開催された埼玉国際ジュニアサッカー大会2013に出場。川満さんは第1回九州トレセン女子U15(鹿児島県)に出場しました。



安村勇哉くん(中央)

技大会の女子シングルスで優勝。第42回九州中学校バドミントン競技大会(熊本県)に出場しました。



上間明町長に優勝報告する西原東中なぎなた部のみなさん

JOCジュニアオリンピックカップ第21回全国中学生なぎなた大会が7月21日に岐阜県で開催され、演技競技の部で米城映里花さん(西原東中3年)・瀬長桃子さん(同中2年)組が、決勝で熊本県のペアに競り勝って優勝。全国の頂点に立ちました。西原東中としては、3年ぶり6度目の全国制覇となります。

小学校のときからペアを組む2人。これまで全国の舞台では「結果的に、いつも優勝した相手に負けてきた。今回は、その山を越えることができ」と優勝の喜びを分かち合っていました。米城さんは「仲間や家族、先生方の支えがあったの優勝は、2倍嬉しい」と喜び、瀬長さんは「全国優勝は2人の夢だった。先輩の中学生最後の大会で夢が叶った」と嬉しさをにじませました。

西原スポーツ

なぎなた全国制覇!

高校生もなぎなたで躍動



知念高なぎなた部のみなさん

沖縄県高校総体のなぎなた競技、演技の部で町在住の玉那覇葉月さん(知念高3年)・慶留間幸音さん(同3年)組が優勝。玉那覇さんは個人と団体試合の部でも優勝し、今大会で3冠を達成しました。

また、佐賀県で開催された全国高校総体のなぎなた競技は、演技の部で玉那覇・慶留間組が準優勝。また、団体試合の部では知念高チームが3位に入る活躍でした。

県内の各種大会で西原勢が奮闘

沖縄県中学体育大会の軟式野球競技は、7月25日に決勝が行われ、西原中が金武中と対戦。1点を守り抜いた西原中が1-0で勝ち、初優勝を飾りました。



西原中野球部のみなさん

この結果、西原中は第38回九州中学校軟式野球大会に出場。県大会の勢いそのままに決勝まで勝ち進みました。決勝は敗れて準優勝となりましたが、九州代表として8月12日から開催される第35回全日本少年軟式野球大会



西原中バレーボール部のみなさん

7月27日に開催された新報児童オリンピックバレーボール大会で、西原小を拠点に活動する西原クラブ(女子)が優勝しました。決勝戦はフルセットの熱戦となりましたが、粘り強くプレーし、逆転で制しての優勝でした。



西原クラブのみなさん

女子バレーボールの坂田クラブは、7月7日に行われた県スポーツ少年団交流大会で3位に入り、8月16日から開催された第33回九州ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会(長崎県)に出場しました。



坂田クラブのみなさん

(愛知県)への出場権を獲得しました。第55回沖縄県中学校バレーボール競技大会は、7月24日に4チームで争う決勝リーグの残り試合が行われ、西原中(男子)が3戦全勝でリーグを制し、優勝を果たしました。西原中の優勝は26年ぶりという、久しぶりの歓喜でした。

9月10日は『下水道の日』

毎年9月10日は「下水道の日」と定められています。下水道整備の促進について国民の理解と協力を得ることを目的に全国的に様々な啓発事業・行事が実施されます。西原町でも、中城村・与那原町・南城市と合同で車両広報パレードや花の種の無料配布を行います。

今年の推進標語は 「下水道 水が笑顔になれる道」

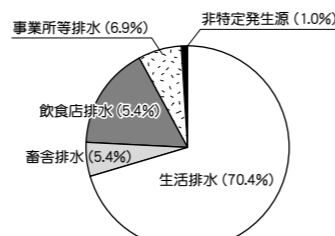
《下水道の役割》

毎日の暮らしから生じる様々な生活排水等によって、本町の川も汚れています。しっかりした処理ルートを整備していなければ、沖縄の美しい海やきれいな川を汚す原因になってしまいます。下水道施設はこのような汚水を専用の処理場できれいな水に変え、川や海へ放流します。水質環境の保全、衛生面の向上、そして快適な日々の生活が送れるように、下水道施設は地域のために活躍しています。



《下水道の供用開始区域》

現在、我謝、美咲、与那城、西原ハイツ、兼久、東崎、平園、小那覇、嘉手苅、掛保久、内間、小橋川、呉屋、小波津、津花波、県営西原団地、翁長、西原台団地、小波津団地、棚原の各一部等となっており、今後も工事の進捗と合わせて年次毎に下水道が使用できる区域(供用開始区域)を増やしていきます。



●中城湾南部流域下水道促進協議会キャラクター(オカヤドカリ)

- ※供用開始された区域の建物所有者については
- ・各家庭の生活排水(汚水)を、し尿浄化槽等を廃止して公共下水道に接続することが下水道法で義務付けられています。
- ・下水道に接続すると水道使用量等に応じて下水道使用料が発生します。

浄化槽などから下水道への切替工事に補助金を助成する制度が、(一定条件を満たすものについて)スタートしました。※補助金制度については、広報にしはら8月号またはホームページをご覧ください。

お問い合わせ 建設部上下水道課 下水道係 ☎945-4934

人材育成会から県外派遣の助成金を交付

各大会で好成績を収め、県外の大会への派遣が決定した町内の児童、生徒に対し、西原町人材育成会(上間明会長)より派遣費用の一部助成を行っています。

愛の贈りもの

金秀グループ(呉屋守将会長)から町人材育成会へ、100万円の寄附をいただきました。また同グループは、町社会福祉協議会(新川善昭会長)へ30万円、グループの創業者で字我謝出身の呉屋秀信



寄附金を手渡す呉屋守将会長(右端)と呉屋秀信さん(左から2番目)

さんから母校の西原中に30万円が寄附されました。新中糖産業(株)(福里重盛代表取締役社長)から町人材育成会へ、50万円の寄附をいただきました。温かい心遣い、心より感謝申し上げます。



寄附金を手渡す福里重盛代表取締役社長(右)